

日本政策金融公庫から500万円借入れ実録

私が妻名義で金融公庫から500万円の借入れをした実践記です。

たいした実績もなく、収入もない状態で金利（年率）1.6%で借入れることができました。

※月額約92,000円の5年返済

金利がかなり安く、思ったより簡単に借入れられたという印象です。

この実例がみなさんにそのまま当てはまるものではありませんが、参考にはなると思います。

金融公庫からの借入れの流れは「日本政策金融公庫」の公式ホームページに詳しく記載されています。

⇒ https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/tetsudukij_c.html

（日本政策金融公庫ホームページ）

このマニュアルでは、その流れの中でポイントとなったことを記載します。

1. 相談する

・事業資金相談ダイヤル（0120-154-505）に電話する

選択番号を着かえるので「1」個人企業・小規模企業の方へつなぎます。

私は小規模企業向け「国民生活事業」の「普通貸付」で「担保を不要とする融資」で問い合わせました。

⇒ https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/jiyusij_m.html

（日本政策金融公庫、普通貸付について）

「支店窓口」を教えてくれるので、そちらに再度問い合わせします。

（私の場合は法人が品川登記であったため五反田支店となった）

・支店窓口で電話する

いくつか質問をされますが、「3. 面談する」の内容を述べれば問題ありません。

2. 申込書類を作成する

・借入申込書

基本的に以下の参考例をもとに記載します。

⇒ <https://www.jfc.go.jp/n/service/pdf/kinyurei170403.pdf>

（借入申込書参考例）

資金の使い道は「運転資金」500万円としました。

・企業概要書

基本的に以下の参考例をもとに記載します。

⇒ https://www.jfc.go.jp/n/service/pdf/kigyou_gaiyousyo_rei171010n.pdf

（企業概要書参考例）

実際に私が（妻名義のもの）を記入した内容はこちらです。（参考にしてください）

⇒ http://amukas.xsrv.jp/uplode/180318_kigyougaiyou.png

（企業概要書実例）

・ショップ紹介資料

amazonの販売サイトURLと販売ページ1ページ目をプリントアウトしたもの
amazonの販売実績（ビジネスレポートを出力したもの）

- ※できるだけ食品だけなど商品群がまとまっていると良い
- ※売り上げの実績が借入金上限に影響するので売上げが大きい方が良い

・その他必要な書類

住民票の写し
運転免許証（またはパスポート）
源泉徴収票（または確定申告書の控え） ※2期分
預金通帳

※詳細は以下のサイトを確認してください

⇒ <https://www.ifc.go.jp/n/finance/ippan/shorui.html>
（教育一般貸付のページですがほぼ同じ内容です）

※私（の妻）は法人であったため法人の登記書類も準備しました

3. 面談する

・相談内容（Q&A）

相談では以下のようなことが聞かれます
（詳しく聞かれる場合と、まずは窓口へ来てください、と言われる場合があるようです）

- ・何の目的でお金を使うのか？
→物販の仕入れ資金
- ・どのくらいの金額を借り入れるのか？
→500万円（最初は1000万円といったのですが難しいと言われる）
- ・なぜ借り入れが必要なのか？
→問屋から商品を仕入れており、ほとんどの場合「先払い」となるため現金を必要としている。
- ・どういった物販をしているのか？
→amazonでネットショップをしている
- ・過去の物販経験はあるのか？
→amazonを使ったネットショップを2年ほどやっている
- ・どのような商品を扱っているか？
→主に食品を扱っているが、その他の商品も扱っている
- ・現在の売上げはどの程度か？
→月額100～200万円ほどで、年商ベースでは2000万円程度（当時）

- ・販売先は？
→不特定多数の一般顧客
- ・主な仕入先は？
→間屋が主であるが、小売りから仕入れることもある
- ・従業員数は？
→1名（妻）、私はサポートで手伝っている
- ・他からの借り入れ状況は？
→住宅ローンを借り入れていて、クレジットカードは生活用として日常的に使っている
- ・なぜ500万円の借入なのか？
→物販の仕入れで300万円ほどを予定している。
200万円は雑費などの運転資金や、余裕分として考えている。
- ・売上げの見通し
→実績上仕入れの150～180%程度の売上げとなるので、
300万円仕入れたときの売上げは450万円～540万円程度となる見込み。
- ・借入の上限額

→1000万円！と言いましたがNGとのことで、
「参考ですが売上げの2倍程度が上限です」と言われたので
当時の最高月商250万円をアピールして500万円の借り入れを依頼した。

4. 法人口座を開設する

これは、法人として特有の物かもしれませんが。
借入金は「銀行口座」に振り込まれますが、「楽天銀行（法人）」ではNGという回答でした。

おそらく「法人銀行の審査」も金融公庫としての審査判断基準の指標としているため、
比較的口座を開設しやすい楽天銀行ではNGということなのだと思います。

大手銀行よりも地方銀行の方が口座を開設しやすいと判断し、
私は、地方銀行である「横浜銀行」で口座を開設しました。

5. 融資される

書類審査、面談、口座の確認などを経て、晴れて融資実行となります。
最初の連絡から1ヶ月ほどの期間がかかります。

途中、担当の方が自宅確認のために自宅へ訪問もされました。
大金を融資するため向こうも本気です。

しっかりと準備して運転資金を借り入れしましょう。

6. 終わりに

問屋仕入れはほとんどの場合先払いですが、このように運転資金に余裕があれば先払いも怖くありません。（1.6%の月々の金利は微々たるもの）

物販に必要なチカラの一つ「資金力」

余裕を持った物販をするために、ぜひ融資実行して「資金力」を強化しましょう！